

嶋田正文の2025年の回文集

身^み愛^ういとす婦^ふ人^{じん} 勾^ま玉^{がたま}の見^み守^もるも身^みの又^{また}我^が慢^{まん} 自^じ負^ふすという身^み
(お守りがあるせよ、一はやっぱり先ず我慢かな)

身^み愛^ういと好^すく婦^ふ人^{じん} 神^{かみ}対^{たい}応^{おう}追^おう老^おいた身^み感^{かん}じ 服^{ふく}すという身^み
(年功で味のある分別に、接すると、頭が下る)

子^こ愛^ういと婦^ふ人^{じん} おむすび海^の苔^り巻^{まき}に決^きまりの美^び 澄^すむ恩^{おん}自^じ負^ふという子^こ
(この恩を感じているのは子でしょうか、母かも?)

身^み清^{きよ}いとす婦^ふ人^{じん} 鏡^{かがみ}に凝^こり虜^{とりこ}に磨^{みが}かん 自^じ負^ふすと居^い良^よき身^み
(虜になって磨かん、の略です)

身^み愛^ういと耐^たえる婦^ふ人^{じん} 猫^{ねこ}飼^かい尊^{とうと}い過^か去^こ念^{ねん}じ 震^{ふる}えたという身^み
(今は心癒えたが、先代の猫が居たという情景です)

身^み愛^ういとす婦^ふ人^{じん} カルテ身^みの補^ほ完^{かん}か灰^{ほの}満^みてる感^{かん}じ 付^ふすという身^み
(この付すは、提供というつもりです)

身^み愛^ういと為^なす婦^ふ人^{じん} 美^び顔^{がん}液^{えき}持^もつも消^きえんが敏^{びん} 自^じ負^ふすなという身^み
(この敏は、単に化粧瓶かも知れません)

身^み清^{きよ}いと燃^もす婦^ふ人^{じん} 名^な前^{まへ}頼^{たの}みの絶^たえ間^ま 汝^{なんじ}臥^ふすもと居^い良^よき身^み
(起きている間は、あれこれ呼ばれ、動き回る毎日だが)

身^み清^{きよ}いと来^く婦^ふ人^{じん}科^か 身^みより心^{しん}音^{おん}知^しり読^よみ感^{かん}じ 福^{ふく}と居^い良^よき身^み
(診てもらったら、お腹から鼓動音という吉報が)

身^み清^{きよ}いと好^すく婦^ふ人^{じん}紫^{あじ}陽^{やう}花^{かい} 尊^{とうと}い些^き事^じ案^{あん}じ 服^{ふく}すと居^い良^よき身^み
(紫陽花の別名が七変化、色々柔軟に、の意味かも)